

半田市立図書館・亀崎図書館

# 子どもの本だな



半田市立図書館 Tel (0569)23-7171 亀崎図書館 Tel (0569)29-5060

スポーツの秋ですね。スポーツの<sup>みりよく</sup>魅力がいっぱいの物語を読んでみませんか。

今月のテーマ  
**スポーツ**

## まっしょうめん！

あさだりん／作 <sup>あらいようじろう</sup>新井陽次郎／絵 <sup>かいせいしゃ</sup>偕成社  
(J 913/ア/1)

6年生の<sup>なるみ</sup>成美は、父の<sup>きぼう</sup>希望で<sup>けんどう</sup>剣道クラブに通うことになりました。そのクラブには成美と<sup>ねんれい</sup>年齢の近い3人の<sup>なかま</sup>仲間と<sup>ねっしん</sup>熱心な<sup>かんたく</sup>監督がいます。  
<sup>しどう</sup>指導を受け、<sup>けいこ</sup>稽古にとりくんだ成美に、<sup>はじ</sup>初めて大会に出る日がやってきました。



## オレさすらいの転校生

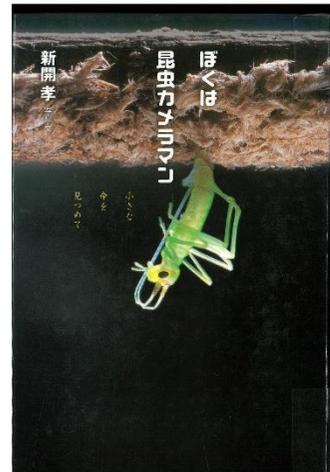
<sup>よしのまりこ</sup>吉野万理子／著 <sup>ひらさわげこ</sup>平沢下戸／イラスト <sup>りろんしゃ</sup>理論社  
(J 913/エ)

4年生の<sup>まがりかどふうま</sup>曲角風馬は、2学期、<sup>しかさとしょう</sup>鹿里小に転校しました。鹿里小では、<sup>となりまち</sup>隣町の小学校と11月に「<sup>きょうほ</sup>競歩」の<sup>たいこうせん</sup>対抗戦があります。  
体育が得意な風馬は、<sup>とくい</sup>競歩をおぼえて大会に出ようと練習を<sup>はじ</sup>始めますが…。

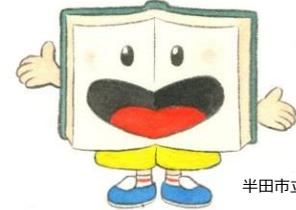


# それ、どんな仕事？

こんちゅう  
**昆虫カメラマン**



昆虫カメラマンの<sup>しんかい</sup>新開さんは、<sup>すがた</sup>昆虫の<sup>すた</sup>かっこいい姿<sup>やすばらし</sup>やすばらしい<sup>のうりよく</sup>能力を、<sup>つた</sup>写真と文でたくさん伝えている人なんだ。



半田市立図書館キャラクターブック

<sup>こんちゅう</sup>ぼくは昆虫カメラマン <sup>いのち</sup>小さな命を見つめて

<sup>しんかいたかし</sup>新開孝／写真・文 <sup>いわさきしょうてん</sup>岩崎書店 (J 486/シ)

<sup>ちよしゃ</sup>著者の<sup>しんかい</sup>新開さんは、<sup>かんしん</sup>中学生のころに<sup>しょう</sup>チョウに関心をもち、<sup>こうがくせい</sup>高校生になって<sup>びょうほんづく</sup>標本作りをするようになりました。やがて、<sup>びょうほん</sup>標本をふやすより<sup>しいく</sup>虫を飼育したり、<sup>ようす</sup>その様子をスケッチすることの方が<sup>す</sup>好きになったのです。小さな昆虫たちの<sup>くらし</sup>くらしをしっかりと見つめ、<sup>つた</sup>伝えることの楽しさや、やりがいについて語っています。

# 新しい本

図書館にはいった 新しい本です。  
かしたしちゆう 貸出中のときは、よやく 予約もできます。

## 復活！まぼろしの小瀬菜だいこん

のいずみ 野泉マヤ／文 たんじようこ 丹地陽子／絵

ぶんけんしゆつばん 文研出版 (J 913/I)

6年生の鈴は、ある日、かわいらしい花をつけた「小瀬菜だいこん」に出会いました。小瀬菜だいこんは、昔、みやぎけん 宮城県の小瀬で作られていた「伝統野菜」です。

小瀬菜だいこんのことを知るうちに、友だち作りが苦手だった鈴の世界は少しずつ広がっていきました。



## 鉄道のひみつ図鑑 ジャンルで比べる

あさひしんぶんしゆつばん 朝日新聞出版／編・著 朝日新聞出版

(J 686/斤)

電車のしくみや車両記号の意味、全国のユニークな列車など、電車にまつわるさまざまなひみつが分かる図鑑です。

2025年1月に引退するドクターイエローや、名古屋鉄道のミュースカイも、しょうかいしています。

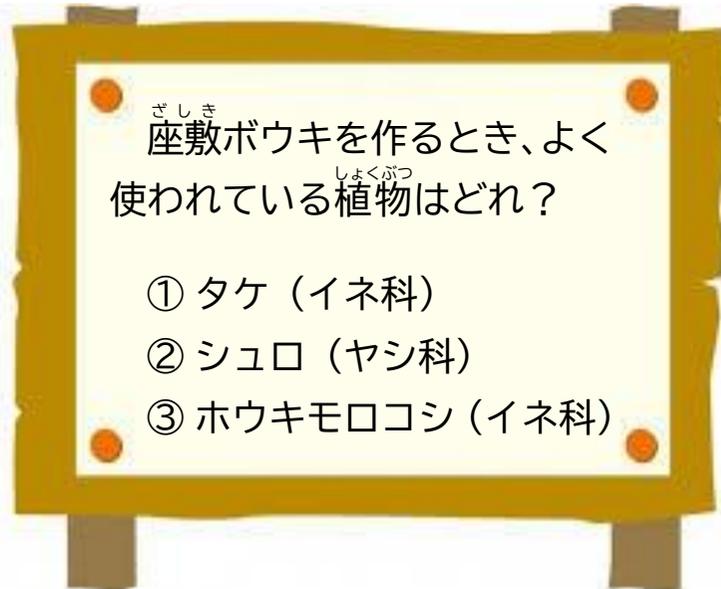


# ものしりクイズ

しおりちゃんからのクイズ、あなたは、とけるかな？



半田市立図書館キャラクター しおりちゃん



ざしき 座敷ボウキを作るとき、よく使われている植物はどれ？

- ① タケ (イネ科)
- ② シュロ (ヤシ科)
- ③ ホウキモロコシ (イネ科)

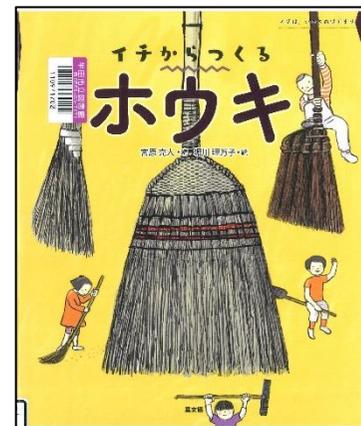
## イチからつくるホウキ

みやはらかつと 宮原克人／編 ほりかわり まこ 堀川理方子／絵

のうさんぎょそんぶん 農山漁村文化協会 (J 589/I)

大むかしから、ごみなどをはくために使われていたホウキ。なかでも、畳をはいても傷つけないやわらかさがあるのが、座敷ボウキです。

どのようにして、作られているのでしょうか。



1本の座敷ボウキを作るのに100株ほどのホウキ草が必要で、そのうち2割は、ホウキ草の根を乾燥させた植物です。1株のホウキ草は、約20cmの高さがある、葉が柔らかい植物です。